

府立箕面支援学校 「学校協議会」報告 （第1回）

日時・場所	平成 24 年 12 月 20 日（木） 本校・校長室		
出席者	協議会委員	所属・職名等	学 校（職名・校務分掌等）
	藤江 康彦	東京大学大学院・准教授	校 長
	浅野 恭子	大阪府池田子ども家庭センター	教 頭 2 名
	辻 優子	吹田市立 わかたけ園・園長	事務長
	加藤 篤志哉	社会福祉法人福祥福祉会・常務理事	首 席
	吉田 和史	萱野東小学校区「青少年を守る会」会長	小学部部主事
	本校保護者	本校 PTA 副会長	中学部部主事
			高等部部主事
			記録者（高等部代表）
主な内容	学校経営計画と進捗状況について 学校教育自己診断と授業アンケートについて		
説明・質問・協議内容等	①小学部、中学部、高等部 各学部の概要および現状と課題 ②学校協議会の変更点について ③学校教育自己診断の実施方法・内容および様式について ④授業アンケートの実施方法および様式について ⑤学校経営計画について ⑥各委員よりの意見・提言 <浅野委員> ・新任教員の育成がこれからの大きな課題である。 ・人権教育に力を入れているようで、学校と連携を深めていきたい。 <辻委員> ・これまでできていなかったこと等、改革を進めているのが分かった。これまでのよいところも大切にして、伸ばして行ってほしい。 通学バス増車の見込みはどうか。→ 増車はない見込み PT・OT・ST 等の専門家の活用についてどうか → 福祉医療人材活用事業として活用 <吉田委員> 地域の人間として何ができるかを教えてもらいながらできることに協力していきたい。 <保護者委員> ・保護者用の学校教育自己診断に体罰についての事項がないので追加してほしい。 ・教職員の名前と顔が分かるように、年度初めに写真と職名、名前の入った新聞等出してほしい。→ 昨年度発行した。PTA 広報紙と協力して出したい。 <加藤委員> ・学校評価に保護者の目線が大きく入ってくるが、学校の主体性が下がっていくことはないか。 → 学校をもっとオープンにして保護者の意見を参考にしながら主体的に進めていきたい。 <藤江委員> ・子どものニーズに応え、教員が専門性を高めることが「安心・安全」につながる。 ・新任教員の育成、教員の専門性を高めることが課題。日常の係わりの中で教えていくことが必要で、ベテラン教員が若い教員に関心を持つことが大切である。		